

つなぐネット、マンション内トラブルの実態調査を実施 騒音は“週2回超”で許容ラインに到達、それでも半数以上が「何もしない」 ～匿名で伝えられる仕組みや、証拠を残すツールなど、摩擦の少ない支援に高い期待～

アルテリアグループの株式会社つなぐネットコミュニケーションズ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：臥雲 敬昌、以下：つなぐネット）は、2026年2月10日～12日に、国内の集合住宅居住者で、近隣・共用部でのストレス・不快経験者516名を対象とした「マンション内のトラブルに関するアンケート」を実施しました。本調査では、騒音トラブルの許容ラインや行動実態、相談をためらう理由に加え、住民が求める支援ニーズを明らかにしました。

調査サマリー

- 調査期間：2026年2月10日～12日
- 調査方法：インターネット調査（国内20～79歳の集合住宅居住者）
- 回答者：516名（近隣・共用部でのストレス・不快経験者が対象。そのうち「騒音トラブル遭遇」該当129名を追加サンプルとして含む）
- 騒音の許容境界線は「週2回以上」から“許容できない”が5割超
- 不快経験があっても「特に何もなかった」53.9%
↳週4～5回以上の騒音被害でも5割以上が“無対応”
- 何もしない理由は「我慢すればよい」28.8%、「関係悪化が不安」21.9%、「相手の素性が分からない」21.2%が上位
- 求められる支援は「管理会社向け報告レポート」31.6%、「匿名通知」29.7%、「記録・証拠化ツール」28.5%が上位

調査ピックアップ

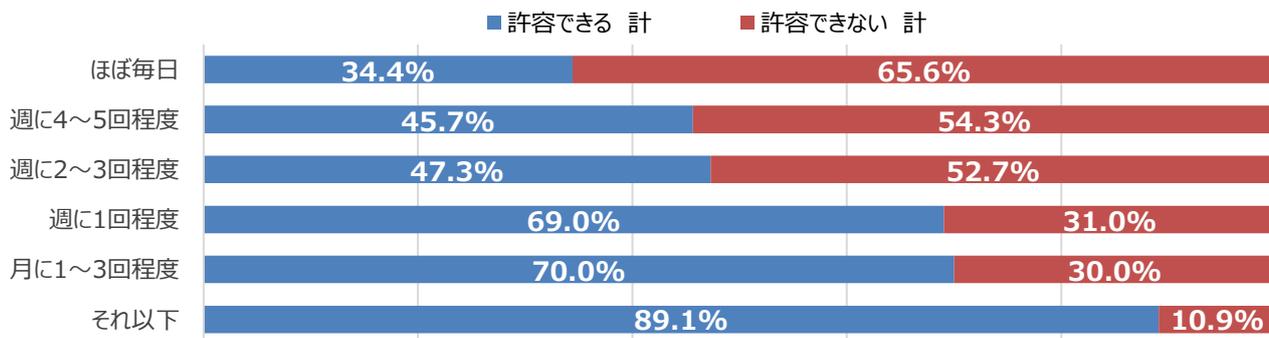
■ 騒音は「週2回以上」で許容ラインを超えやすい

Q：騒音によるストレスや不快に感じる出来事を経験した方にお聞きます。
あなた自身の「許容範囲（我慢できる範囲）」に照らし合わせると、どの程度当てはまりますか。

つなぐネット

(n=328)

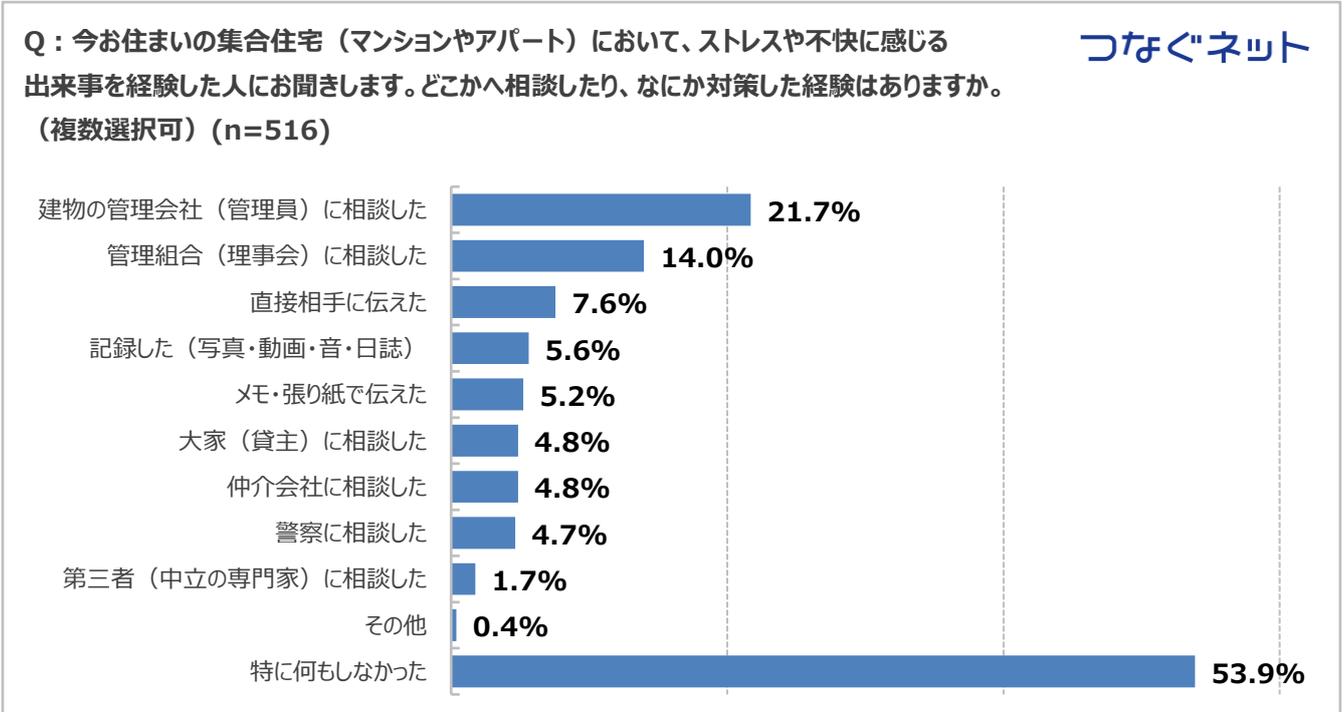
※本グラフは騒音によるストレスや不快に感じる出来事を経験した方に「騒音の頻度」を聞いた結果をクロス集計したもの



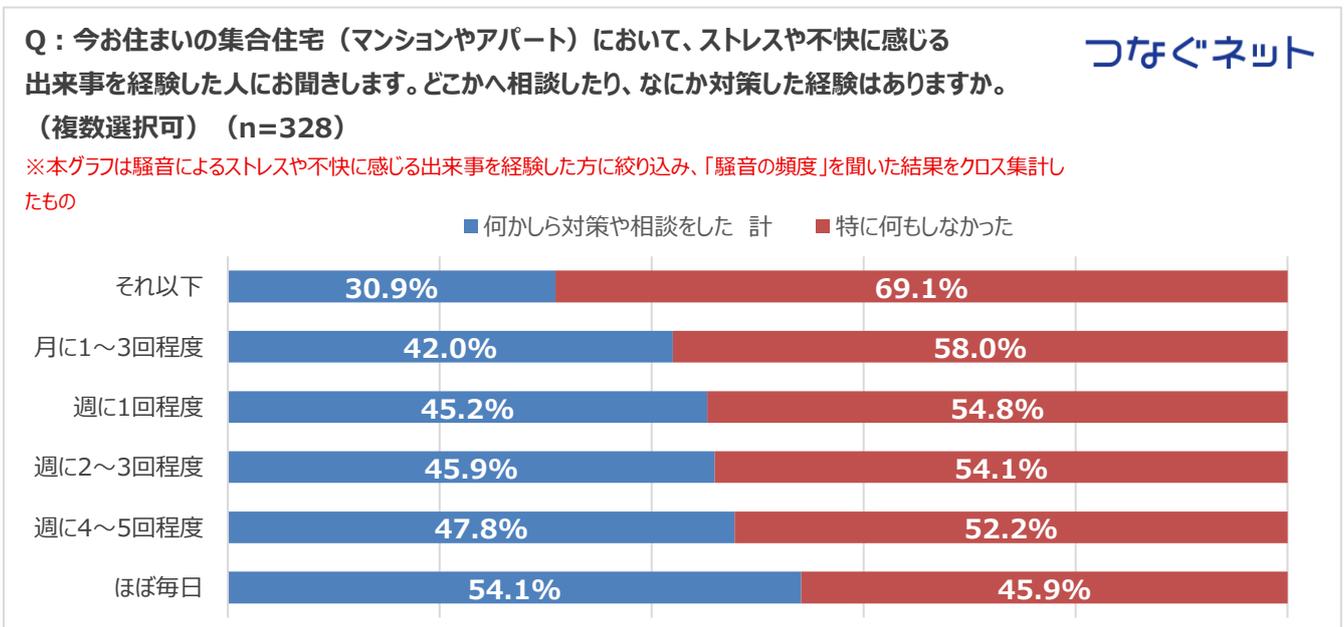
注：構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります（以下同様）

騒音について、「許容できない」と回答した割合は上記の通りで、週 2 回以上で 5 割を超える結果となりました（週 1 回以下では、許容する住民が過半を占める傾向）。多くの住民にとって、騒音は頻度が一定ラインを超えると急激に許容できなくなることが分かります。

■ 半数以上が「何もしない」—行動できない住民の背景



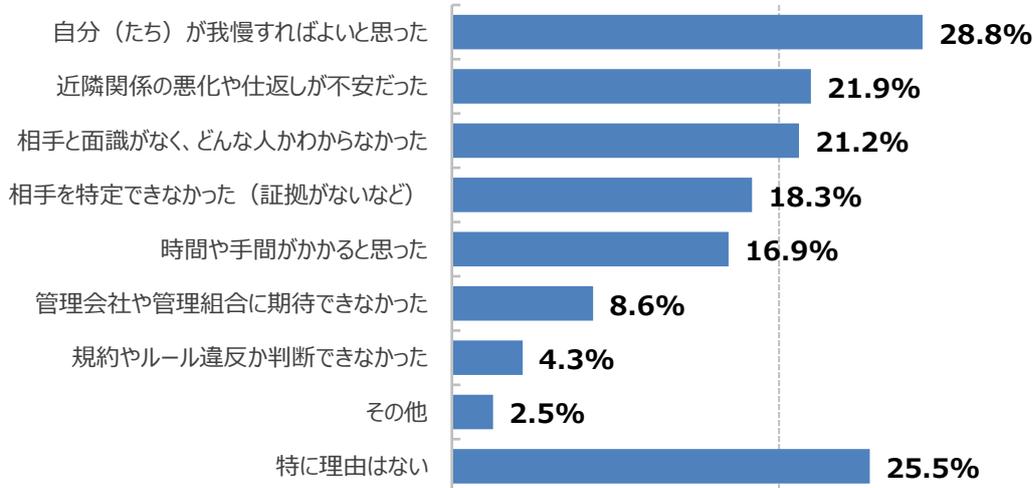
近隣トラブルを経験しても 53.9%が「特に何もしなかった」ことが判明しました。



騒音頻度が高い層でも「特に何もしなかった」方の割合が高く、週 4～5 回程度でも 52.2%、ほぼ毎日でも 45.9%と、負担の大きさと行動の乖離が見られます。

Q：「ストレスや不快に感じる出来事」に対し、特に何もなかった人にお聞きます。
相談や対応をためらう主な理由について、あてはまるものをお選びください。

(複数選択可) (n=278)

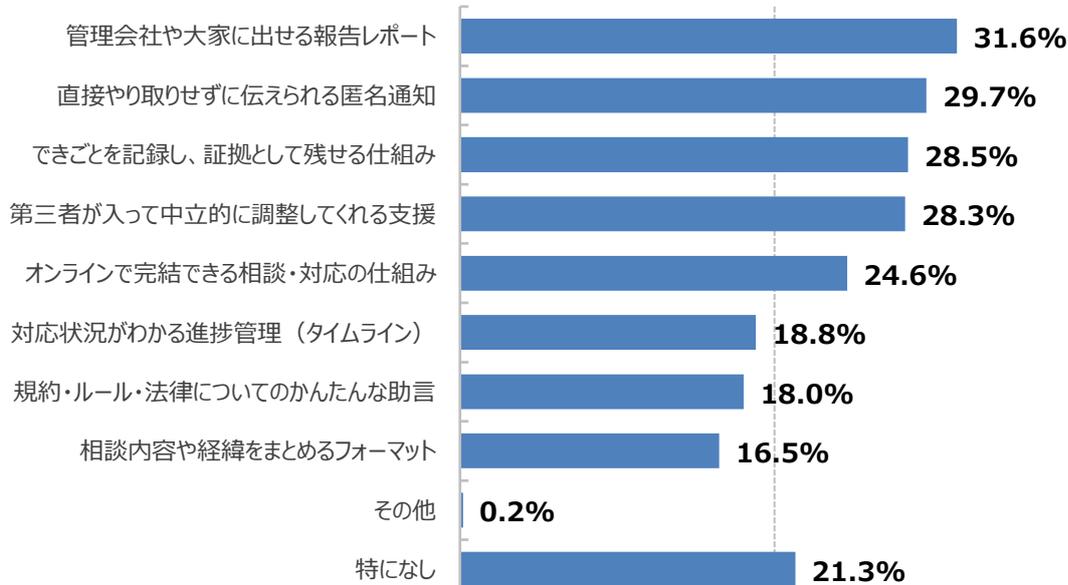


行動をためらう理由としては、「自分が我慢すればよいと思った」が 28.8%、「近隣関係の悪化や仕返しが不安だった」が 21.9%、「相手と面識がなく、どんな人かわからなかった」が 21.2%と、人間関係・心理的なハードルが上位に挙がりました。

■ 求めるのは「摩擦を生まずに済む仕組み」

Q：ご近所で、何らかの行き違いやトラブルが起きたとき、立場に関係なく（相談する側・相談される側のどちらでも）、あると助かると思う支援や仕組みをすべてお選びください。

(複数選択可) (n=516)



トラブル発生時にあると助かる支援では、「管理会社や大家へ提出できる報告レポート」が 31.6%、「直接やり取りをせずに伝えられる匿名通知」が 29.7%、「できごとを記録し、証拠として残せる仕組み」が 28.5%、「第三者が入って中立的に調整してくれる支援」が 28.3%など、直接対峙せずに済む、客観的な情報を残せる仕組みへのニーズが高いことが分かります。

ARTERIA

アルテリアグループ

▼マンションに住まうを考えるサイト『マンション・ラボ』では、さらに詳細なアンケート結果を掲載しています。ぜひあわせてご覧ください。

<https://mlab.ne.jp/n/n197668998db2>

つなぐネットの取り組み：Mcloud・GOKINJO による住民サポート

つなぐネットでは、マンション管理の効率化や住民間コミュニケーションを支援する ICT サービスを提供しています。

■ マンション管理組合の運営に特化したグループウェア「Mcloud」

マンション管理業務をクラウド化し、報告書作成やお知らせ配信などを効率化。

住民から寄せられる意見や相談を受け付け、対応履歴を記録できる「ご意見箱」の機能も備えています。

<https://www.tsunagunet.com/ictsolution/cloud.html>

■ コミュニティ支援「GOKINJO」

「GOKINJO」は、株式会社コネブラが提供する住民間の情報共有や連絡をオンラインで行えるマンション向けコミュニティサービス。匿名性を保ったまま必要な情報を伝達でき、住民の不安軽減に寄与します。

<https://www.tsunagunet.com/ictsolution/gokinjo>

本調査で示された「相談しやすい環境」や「状況を適切に残せる仕組み」へのニーズに対し、つなぐネットは、情報技術を通じてマンション生活をより豊かにするという理念のもと、管理会社・住民双方の負担を軽減し、安心して暮らせる住環境づくりに今後も貢献してまいります。

<株式会社つなぐネットコミュニケーションズ 会社概要>

代表者	代表取締役社長 臥雲 敬昌
所在地	東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル
設立	2001 年 1 月 24 日
URL	https://www.tsunagunet.com/

※リリースに記載されている内容は、発表日時点の情報です。ご覧になった時点で、内容が変更になっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。